

想定した品目

ネットメロン(秋作)

1. 技術体系の特徴

品目	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴
ネットメロン(秋作)	人 2	ネットメロン秋作 a 40 経営耕地面積 水田 90 畑 60	1. ハウス栽培 2. 秋作との組み合わせ 3. 購入苗利用
経営目標		1 農業総収入 6,636 千円 2 農業経営費 4,492 千円 3 農業所得 2,144 千円	4 1日当たり農業所得 8,575 円 5 1人当たり年間労働時間 1,000 時間

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割 有 合	取得価格	耐用 年数	年 間 償 却 額
					千円	年	千円
建物・施設	パイプハウス (ハウス本体工事、一里カーテン、換気扇、灌水チューブ、電気工事込み)	4	連棟標準型(AP): 4,000m ²	1	27,586	8	1,724
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60m ²	1	3,240	24	135
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20m ²	1	1,080	24	45
	計				31,906		1,904
農機具	トラクター	1	20PS	1	1,817	7	130
	動力噴霧機	1	可搬式(5MPa)	1	213	7	15
	管理機	1	6.2PS	1	200	7	14
	トラック	1	軽トラック	1	917	4	115
	計				3,146		274

3. 技術体系(ネットメロン秋作)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(本ほ) 耕うん整地	耕起整地	7月下旬	トラクター	1	4	4	堆肥 2t 石灰質資材 80kg	
土壌消毒		7月下旬		2	3	6		県病害虫防除基準による
施設組立て	ビニール張り	8月上旬	トラック	4	9	36	ビニール一式	
施肥	全量基肥	8月上旬	トラック トラクター	2	2	4	N 10kg P ₂ O ₅ 19kg K ₂ O 8kg	
定植準備	うね立て 配管 マルチ 寒冷紗張り	8月中旬	トラック 管理機	2 2 2	3 3 4	6 6 8	かん水パイプホース シルバー寒冷紗 (ワイドスクリーン) ホリフィルム 0.02mm 幅150cm 長さ770m	栽植密度(1条植え) うね幅1.3m×株間40cm 10a当たり 1,900株 アブラムシ侵入予防のため防虫ネットをハウス入口・サイド、谷部に張る
定植		8月中旬	トラック	2	11	22	セル苗 コンテナ	午前中植穴に充分かん水しておき夕方にかけて一斉に定植する
支柱立て	支柱立て	8月中旬	トラック	2	8	16	支柱 400本	生育が早いので早めに準備する。 株元より10cm以上話して立てる。
整枝誘引 交配摘果		9月上旬		2	56	112		つる先を揃え11~14節を結果枝とする。 結果枝より上の11~14節を残し摘心。
温度管理	保温、換気	8月中旬 ~11月中旬	暖房機 谷換気 側換気	1	29	29	ハウス内	ハウス内気温 昼 温 28~30℃ 開花期 20℃以上 夜 温 15℃確保
かん水		9月中旬 ~10月中旬	かん水施設	1	9	9		着果後と横ネット形成の肥大期を中心にかん水する。
玉吊り	玉吊り 袋掛け	9月中旬 ~10月上旬		2	33	66	新聞紙	こぶし大の頃
病害虫防除	薬剤散布 耕種的防除	8月下旬 ~10月下旬	動力噴霧機	2	7	14		県病害虫防除基準によるくん煙剤等との併用で予防に努める
収穫出荷		11月上旬 ~11月下旬	トラック	2	71	142	コンテナ ダンボール 350箱	交配後60日(目安) 糖度14度以上
後かたづけ	ほ場環境浄化	12月上旬	トラック トラクター	2	10	20		
計						500		

4. 品目の作付体系(○被覆, △定植, □収穫)

品目(作型)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ネットメロン (秋作)							○	△~△	—	—	□	

